

効きめで好評!

プロやハイアマチュアが絶賛!

ハイテク技術の結晶!

濃縮液体肥料

●カルシウム不足の予防に
カルシウム液

主なカルシウム欠乏症



◎病気でない病害カルシウム欠乏予防に!

作物名	主なカルシウム欠乏	使用時期	使用回数
トマト	尻腐れ果・窓あき果	育苗期、各花房の開花時～幼果期	1～2週間毎に1～2回(各段)
ピーマン	尻腐れ果	開花時～幼果期	1～2週間毎に随時
キュウリ	肩こけ果・くびれ果	定植10日頃～収穫盛期	1～2週間毎に随時
メロン	醜醜果・肩こけ果	交配後～果実肥大始期	1～2週間毎に2～3回
イチゴ	葉枯れ・チップバーン	生育期	1～2週間毎に随時
ハクサイ キャベツ	芯腐れ 縁腐れ	定植直後～2週間以内 生育期〔結球開始期～後期〕	5～7日毎に2～3回 7～10日毎に随時
レタス	芯腐れ チップバーン	定植後～10日以内 生育中期～後期	4～5日毎に2回 5～7日毎に随時
葉ネギ	葉先枯れ	生育期	5～7日毎に随時
シュンギク	芯枯れ	本葉5～6枚時～生育後期	5～7日毎に2～3回

カルシウムの植物体内における役割

- カルシウムは植物の直接養分となり、多量に吸収されている。
主要作物の窒素に対するカルシウムの吸収割合は、野菜類では窒素と同量、果樹類では窒素以上に吸収しており、カルシウムは作物にとって非常に大切な資材です。
- カルシウムは、植物体で生じる酸類を中和して無害にする。
- 澱粉、糖の根や子実への移動を行う。
- 果実の着色促進、糖度の増加等、商品価値を高めます。
- 貯蔵性を高める。

カルシウムは、ペクチン酸と結合して組織を丈夫にします。そのためカルシウムが不足すると細胞間の結合が悪くなり、生産物の貯蔵力が低下します。